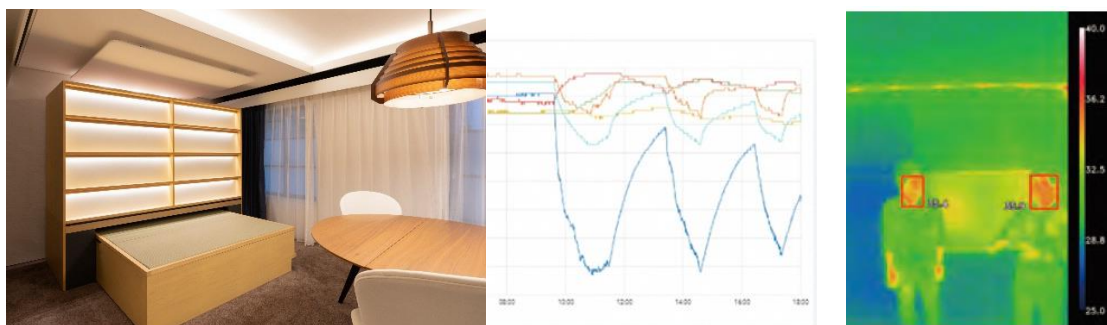


**IoT や AI を活用した『Open Smart UR』モデル住戸が完成！
～生活モニタリングによる実証実験に着手～**

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）と東洋大学情報連携学部（以下「INIAD」）は、旧赤羽台団地エリアにある登録有形文化財の保存住棟（中層階段室型住棟）において、IoT や AI 等を活用した生活可能なモデル住戸を4戸整備しました。今後、モデル住戸で実際に生活体験を行い、データ取得・分析（生活モニタリング）による実証実験を進めていき、IoT や AI 等を活用したUR賃貸住宅への新たなサービスへ繋げていくことを検討しています。実証実験に先立ち、企業・行政・学校関係者等向けの内覧会を開催しますので、ご案内いたします。



ベッドやワークスペースとなる可動家具 取得データのイメージ（左：室内温度、右：表面温度）

＜経緯・今後の予定＞

UR都市機構とINIADは、平成30年に技術協力の覚書を締結して以降、共同研究により、UR賃貸住宅にIoTやAI等を活用して様々な生活関連サービスを提供する「HaaS（Housing as a Service）」という新たな発想のもと、情報技術を活用した魅力的で安心な生活環境である「Open Smart UR」ビジョンを提案しています。

令和元年には、旧赤羽台団地エリアにある保存住棟（スターハウス）においてスタートアップモデル住戸を公開したほか、UR都市機構・INIAD・民間企業が連携する「Open Smart UR 研究会」を発足して、令和4年10月現在、民間企業67社に入会いただいています。

なお、本モデル住戸の位置する旧赤羽台団地エリアでは、「都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設（仮称）」を令和5年に開館予定です。「Open Smart UR」の取り組みと併せて、過去から現在、そして未来へのまちづくりを志向していきます。

1 生活モニタリング住戸の概要

1) 場 所：旧赤羽台団地 41 号棟 1 階・3 階
(東京都北区赤羽台 1 丁目 4-4 1)

2) 対象住戸：異なる 2 つのモデルを以下のとおり整備

①カスタマイズモデル (101 号室・102 号室)

<コンセプト>

- ・住まい手に合わせた内装やスマート技術を実装したモデル
- ・居住者像として、高齢者夫婦・若年ファミリーを想定
- ・スマート置き配スペースや可動家具を実装
- ・照明、エアコン、スマートロック等の様々な設備が API 連携で制御可能



②ベーシックモデル (301 号室・302 号室)

<コンセプト>

- ・一般的な UR 賃貸住宅にスマート技術を取り入れたモデル
- ・居住者像として、壮年パートナー (DINKs)・若年単身を想定
- ・照明、エアコン、スマートロック等の様々な設備が API 連携で制御可能



2 生活モニタリング住戸の内覧予定

下記のとおり２段階での内覧を予定しています。

１）第１弾

対 象：企業・行政・学校関係者等

（※当日、お名刺をご持参ください。）

期 間：令和４年１２月５日（月）～１２月２３日（金）

申込時期：令和４年１０月１７日より受付開始

申込方法：メールにて申込み

（※定員になり次第、終了とさせていただきます。）

詳 細：ホームページ参照

(https://www.ur-net.go.jp/rd_portal/OpenSmartUR/modelroom.html)

２）第２弾（予定）

対 象：一般の皆様

期 間：令和５年１月中旬

詳 細：令和４年１２月中旬までに後日あらためて HP に掲載

（※第１弾と第２弾で公開内容に変更はありません。）

○現地案内図

モデル住戸所在地：東京都北区赤羽台１丁目４－４１



【本件に関するお問い合わせ先】

UR都市機構

技術・コスト管理部ストック設計課

広報室 報道担当

（電話）０４５－６５０－０６６４

（電話）０４５－６５０－０８８７

赤羽台情報発信施設（仮称）エリアに「都市の暮らしの歴史を学び、
未来を志向する情報発信施設（仮称）」を令和5年に開館予定



施設外観イメージ



RC造-木造の併用構造フレーム

ヌーヴェル赤羽台団地の保存街区では、我が国の都市の成り立ちやライフスタイルを学ぶ施設を現在整備中です。

当施設では、我が国の鉄筋コンクリート造集合住宅の先駆けとなった、同潤会代官山アパートを始めとする4団地計6戸の「再現住戸」を、集合住宅歴史館（八王子市）から移築・設置するほか、壁床4面スクリーン投影による映像展示、模型やパネルを用いて都市と集合住宅の暮らしの歴史や変遷等を紹介します。

当建物は、RCと木の併用構造による耐火木造建築物です。「空間標本」をコンセプトに、前述の「再現住戸」が積層する様子を外部からも眺めることができる特徴的なデザインとなります。

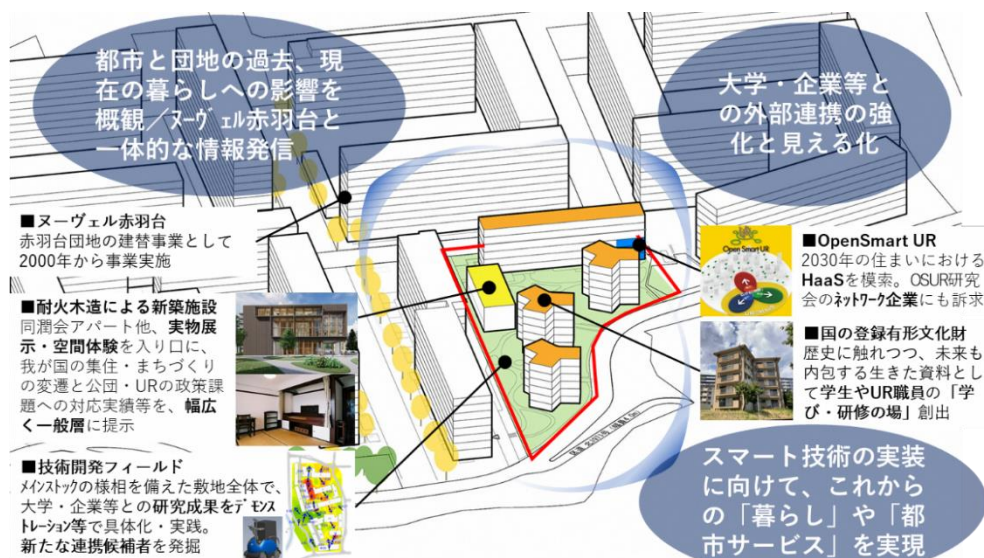
現在、スターハウスの外観再現等の保全・改修と併せて整備中です。令和5年の公開にご期待ください。



映像展示室イメージ

再現住戸
同潤会代官山アパート(単身住戸)

位置図



赤羽台情報発信施設（仮称）エリアの将来像

＜関連企画＞「令和4年度 UR ひと・まち・くらしシンポジウム」

* パネルディスカッションでは、赤羽をモデルケースにしたまちづくりの歴史等を有識者の皆様にお話しいただきます。

開催日時: 2022年10月27日(木) 12:00~16:20 申込方法: <https://www.ur-net.go.jp/rd/houkokukai/2022/>

